

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公開番号】特開 2021-37651 (P2021-37651A)

【公開日】令和 3 年 3 月 11 日 (2021.3.11)

【年通号数】公開・登録公報 2021-013

【出願番号】特願 2019-159033 (P2019-159033)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/42 (2006.01)

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

B 4 4 C 1/17 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/42 3 1 0

B 4 1 M 5/382 8 0 0

B 4 1 M 5/52 4 0 0

B 4 4 C 1/17 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 15 日 (2021.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 基材と、剥離層を少なくとも備える転写層とを備え、
前記剥離層が、樹脂材料、抗菌粒子及び帯電防止材を含み、
前記抗菌粒子の平均粒子径が、 $1\ \mu\text{m}$ 以上 $8\ \mu\text{m}$ 以下であり、
剥離層において、前記樹脂材料 100 質量部に対する抗菌粒子の含有量が、2.8 質量部以上 8 質量部以下である、熱転写シート。

【請求項 2】

前記剥離層の厚さが、 $0.5\ \mu\text{m}$ 以上 $3\ \mu\text{m}$ 以下である、請求項 1 に記載の熱転写シート。

【請求項 3】

前記抗菌粒子の平均粒子径と、前記剥離層の厚さとの比（抗菌粒子の平均粒子径 / 剥離層の厚さ）が、1 以上 8 以下である、請求項 1 又は 2 に記載の熱転写シート。

【請求項 4】

前記抗菌粒子が、抗菌性金属イオンを担持するリン酸塩である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の熱転写シート。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の熱転写シートを用いて製造した印画物であって、被転写体と、
前記転写層とを備える、印画物。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の印画物の製造方法であって、
請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の熱転写シート及び被転写体を準備する工程と、
前記被転写体上に、前記熱転写シートが備える前記転写層を転写する工程と、

を含む、印画物の製造方法。

【請求項 7】

前記転写層の転写後、前記被転写体に対し、殺菌線を照射する工程を含む、請求項6に記載の印画物の製造方法。

【請求項 8】

第2基材と、剥離層と、受容層とを備え、
前記剥離層が、樹脂材料、抗菌粒子及び帯電防止材を含み、
前記抗菌粒子の平均粒子径が、 $1\text{ }\mu\text{m}$ 以上 $8\text{ }\mu\text{m}$ 以下であり、
剥離層において、前記樹脂材料100質量部に対する抗菌粒子の含有量が、2.8質量部以上8質量部以下である、中間転写媒体。

【請求項 9】

請求項8に記載の中間転写媒体を用いて製造した印画物であって、
被転写体と、
前記剥離層と、
前記受容層と、を備える、印画物。

【請求項 10】

請求項9に記載の印画物の製造方法であって、
請求項8に記載の中間転写媒体及び被転写体を準備する工程と、
前記中間転写媒体が備える前記受容層上に画像を形成する工程と、
前記中間転写媒体が備える前記剥離層及び前記受容層を、前記被転写体上に転写する工程と、
を含む、印画物の製造方法。

【請求項 11】

前記剥離層及び前記受容層の転写後、前記被転写体に対し、殺菌線を照射する工程を含む、請求項10に記載の印画物の製造方法。

【請求項 12】

請求項5又は9に記載の印画物を製造するための印画物製造システムであって、
熱転写プリンターと、
殺菌機構と、
を備える、印画物製造システム。